



# 図書館だより

No.6

令和5年10月  
大洲中学校図書館

## 「秋深き 隣はなにををする人ぞ」

みなさんこんにちは。早いものでもう10月です。そして、秋真っ盛りです。

上の俳句は、江戸時代前期に活躍した俳人、松尾芭蕉の一句です。

この句は、1694年9月芭蕉が大坂（現在では大阪と表記）の知人宅にいた際、体調を崩してしまい臥せっていたときに詠んだ句とされています。「深まってゆく秋。隣の家に暮らすのは、どんな人だろうか」といった内容の句で、秋が一層深まってきて一人寂しさも感じられる中、かすかにきこえてくる物音に隣の人は何ををする人であろうか。たまたま縁あって今隣に居るけれど、こうして秋はゆっくりと暮れていってしまうのでしょうか。人生もまた、こうして静かに暮れていくのでしょうか。と、寂しさ、切なさを感じられる一句ですね。この句を詠んだ半月後、芭蕉は51歳の歳で亡くなりました。より切なさを感じてしまいますよね。（参考図書「奥の細道大辞典」915-マ）

また、ある会社が行った「秋といえば何ですか？」のアンケート調査によると、第一位は「紅葉」、第二位は「ハロウィン」、そして第三位は「満月」だったそうです。

以下「さつま芋」、「十五夜」、「秋刀魚」、「赤とんぼ」、「彼岸花」、「梨」、「栗」の順でBest10が挙げられています。



このBest10を内容別に分類してみると、見るもの、食べるもの、行事として楽しむもの、に大別できます。人々は、「見て」「食べて」「楽しんで」この秋を思い切り満喫するのでしょうかね。

## 新着図書のご紹介



### 『犬犬ワンダーランド』 まんきつ 著 扶桑社

日常で繰り広げられる愛犬との笑いあり涙ありのエッセイ漫画。

以前より問題視されている悪徳ブリーダーのことや保護活動家のこと、犬の学校のことについてもわかりやすく説明されていて、空想の世界の話ではなく、実際に自分が経験したことを漫画として書き表しており、単なる漫画とは一線を画しており、共感できる点が多々あり、心が癒される一冊です。

保健室の先生お気に入りの一冊。



### 『「みんなと違う」自分を大切にする方法』 本田秀夫 著 KADOKAWA

「友だち」「努力」「普通」の3つのテーマに関する10代の子供たち特有の悩みを具体的に紹介し、読者がより理解しやすいようその悩み（問題点）を四コマ漫画で表現したり、また、悩み解決の核心部分の文章にはラインがひかれてあったりなど、まさに中学生向きの本と言えるのではないのかなと感じました。

また、問題点として挙げられている項目は、実は大人にも通ずるものも多く、大人のお悩み解決本としての機能も十分に期待できる一冊と言えます。

ほっとする一むの先生ご推薦の一冊です。

他にも魅力溢れる本がたくさんあります。図書館で、読書の楽しさを感じ取ってくださいね。